

2004年5月19日

練馬区児童部長 殿  
保育課長 殿

待機児解消と保育園の充実のための要望書

練馬区保育園父母連合会

1、待機児解消のために、公立保育園を増設してください。

今年度も公立保育園に入園を希望しながら入れなかった子どもが多数発生しています。練馬区では、長い間公立保育園がつかられていません。池袋の無認可保育所での事故にみられるように、営利目的の保育所は安全面に問題があります。安心して子どもを預けられる公立保育園の役割は大きくなっています。認証保育所へ子どもを預けた父母が、改めて公立保育園への入園手続きをとっている実態からみても、公立保育園の増設こそ待機児解消の大道です。21世紀に入って最初の公立保育園をつくってください。

2、延長保育実施園の「スポット利用制度」を希望者が利用できる制度に至急改め

てください。この制度について、父母に十分な説明をおこなってください。4月からはじまった「スポット利用制度」ですが、17園中「スポット」の枠が確保されたのは11園です。しかもそのうち8園は枠が1人という状況です。「期待していたのにこれでは利用できない」という声も少なくありません。一方で、延長保育時間帯に20名の定員枠いっぱいになっていないのも多くの園の現状です。月ぎめの延長保育者の欠員数から「スポット枠」を決めるやり方をあらため、柔軟に対応し、スポット制度を実際に使える制度に至急改善してください。「スポット利用制度」の導入にさきだって、父母連は説明会の開催を求め、区議会に陳情も提出しました。この制度の利用の仕方をはじめ、父母が十分理解できる説明会の開催を求めます。

3、父母への説明がなされないまま強行された「延長保育料」の保育料を元に戻してください。

「スポット利用制度」の導入にともない、説明がなされないまま一方的に延長保育料の値上げが強行されました。これまで600円だった家庭では6.6倍もの値上げです。父母への説明がなされないまま強行した「保育料」を元に戻してください。また緊急策として、家計が大変な世帯にたいしての「減額制度」を設けてください。

4、延長保育実施園を増やしてください。

4月より下石神井第三保育園で延長保育が実施されましたが、延長保育を望んでいる保育園の父母は少なくありません。つつじ保育園父母会では実施をもとめる陳情を提出し区議会で採択もされています。また、春日町第三保育園ではこれまで数回候補になりながら実施にいたっていません。延長保育を望む声の多い地域と保育園から、すみやかに延長保育を実施するようにしてください。

5、保育内容と園児の安全確保のため、十分な職員配置をしてください。

練馬では、正規職員の数は以前のまま11時間保育が実施されました。いま保育園・学校・児童施設では安全問題が重要視されています。保育園の安全確保には人の配置が不可欠です。2階施設で削減した正規職員の削減分を元にもどすこと、ならびに安全確保のために非常勤職員を含めた十分な職員配置をしてください。

6、耐震検査をふくめた保育園の環境総点検をおこない、保育環境の整備をおこなってください。

従来、区内の保育園は毎年2園ごとに大規模改修がされてきましたが、ここ数年それが実施されていません。保育園によっては老朽化がすすんでいるところもあります。全園で耐震検査をおこない、結果を情報公開し、必要な園から改修工事をおこなってください。また、園によっては壁紙がはがれ落ち、床板が破損している所もあります。総点検をおこない、子どもが育つ場にふさわしい環境に整備してください。

7、園と父母との信頼関係を築き、子どもたちにとってより過ごしやすい園にするために、父母会への協力をすすめるように、園長に徹底してください。

父母会は子どもたちのために、よりよい保育園づくりのために活動しています。しかし、園によって父母会活動に対する園長先生の態度が異なっているのが現状です。父母会関係のニュース配布や行事の開催など、父母会活動に協力するよう各園長に徹底するようにしてください。

8、保育園の父母から陳情も出されている「病後児保育」をおこなう公立保育園をつくってください。

一部の私立保育園では「病後児保育」が実施されていますが、定員がごくわずかしかありません。区が推進役となって「病後児保育」をすすめてください。そのために公立保育園での「病後児保育」の開設をすすめてください。

9、以上8項目について、本日の懇談をふまえ、改めて文書で回答してください。